

移動等円滑化取組計画書

I 現状の課題及び中期的な対応方針

(1) 現状の課題

乗合バス車両について、バリアフリー化整備を進めるべく、ノンステップバスを既に全車両で導入済である。一方で、バス車内には反転式スロープ板や段差部のLED注意喚起等の装備を推進しているが、全車両への導入にはまだ時間を要する状況にある。あわせて、2018年度からバス車内に車椅子の旅客が2名乗車可能なバスの導入も推進しているが、ほとんどが1名のみ乗車可能なバスである。

また、東京都葛飾区内は高齢者が多く、停留所へのバスロケーションシステムによる到着時分表示を推進している。しかしながら、2018年度末時点で17停留所のみの対応に留まっている。なお、バスロケーションシステムの導入に伴い、旅客に対し乗車予定車両がノンステップバスか否かの情報を提供している。

(2) 今後の対応方針

上記課題を勘案し、2019年度中に反転式スロープ板及び段差部のLED表示を装備し、あわせて車椅子の旅客が2名乗車可能なバスを4台導入する。

また、バスロケーションシステムによる到着時分表示を5停留所に新設する。

II 移動等円滑化に関する措置

① 旅客施設及び車両等を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる旅客施設及び車両等	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
ノンステップバス	ノンステップバスを4台導入する。(2019年度) ※全4台が代替
車椅子2名乗車対応バス	車椅子の旅客が2名乗車可能なバスを4台導入する。(2019年度) ※全4台が新設

- ② 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
利用方法の周知	バスロケーションシステムの利用促進のために、バス車内や停留所での周知を図る。

- ③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
情報提供の拡充	バス到着時分表示をするバスロケーションシステム表示機を5台新設する。(2019年度)

- ④ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
乗務員研修	新任乗務員を対象とした高齢者、障害者の方の乗降支援に関する研修を実施。(2019年度)

Ⅲ 移動等円滑化の促進のためⅡと併せて講ずべき措置

主な営業エリアである東京都葛飾区や江戸川区との情報交換により地元住民からの要望等を把握する。(2019年度)

Ⅳ 前年度計画書からの変更内容

対象となる旅客施設及び車両等又は対策	変 更 内 容	理 由
	なし	